

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

国際・地域連携センター ニュースレター 〈第9号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者：吉用

はじめに

平成24年1月27日

高知大学と芸西村 連携協定締結

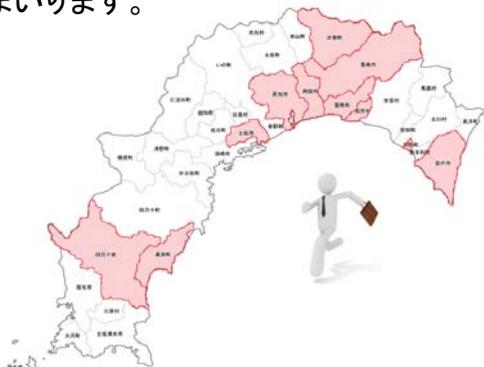
先月の当ニュースレターにてお伝えしましたように、1月27日(金)に芸西村との連携協定が実現しました。

芸西村から竹内村長、安岡副村長はじめ4名が来学し、相良学長と協定書の調印を行いました。



左:相良学長 右:竹内村長

高知大学にとって芸西村は県内11番目の連携自治体となり、ますます地域との輪が広がっています。地域との信頼と絆を求め、今後も県内全域駆け回ってまいります。



目次

p1 はじめに

p2 地域連携・再生部門

Topic1. 新たなパートナー誕生！

Topic2. 土佐の食品産業の育成に向けて

p3 産学官連携部門

Topic1. 地域製品のブランド化へ・・・

Topic2. 出展希望者募集中！

p4 知的財産部門

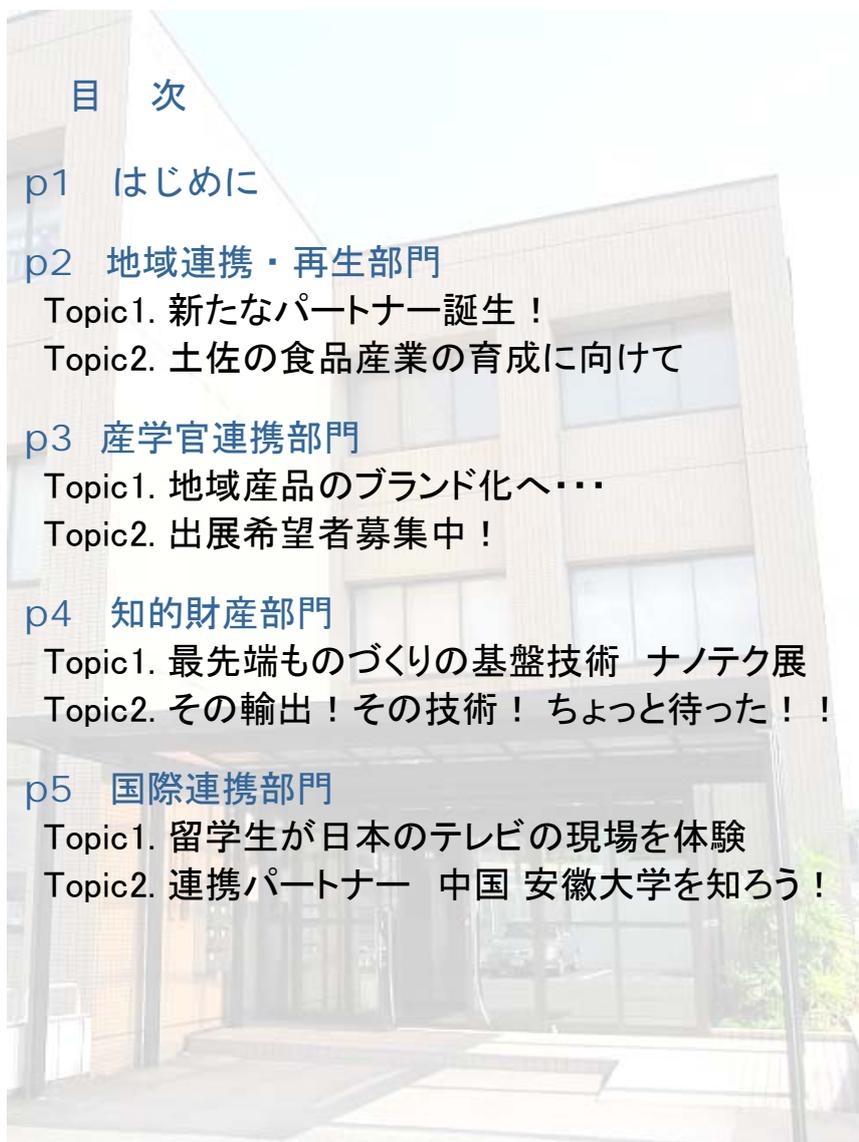
Topic1. 最先端ものづくりの基盤技術 ナノテク展

Topic2. その輸出！その技術！ちょっと待った！！

p5 国際連携部門

Topic1. 留学生が日本のテレビの現場を体験

Topic2. 連携パートナー 中国 安徽大学を知ろう！



Topic 1. 新たなパートナー誕生！ ～芸西村と連携協定締結～

1月27日(金)、高知大学の11番目の連携自治体として、芸西村との連携協定調印式を執り行いました。連携する事業については、これまでの村との協議の結果、次の事業を考えています。

- (1)環境保全型農業の実践による農業の高度化に関する事業
天敵昆虫を利用した施設園芸に対する指導・助言
ブルースター等、花卉栽培の指導・助言
- (2)健康増進に関する事業
自宅で行える「ロコモーショントレーニング」の実践
海水健康プール芸西を活用した水中運動プログラムの実践
- (3)人材育成等に関する事業
村民や役場職員の学びの場としての公開講座の開催

今後、連携協議会を設置し、上記事項の実践に向けて共同で進めるとともに、他の課題についても発掘、大学が持つ機能を活かした解決を図っていきます。



Topic 2. 土佐の食品産業の育成に向けて ～6次産業化高知県地域ネットワーク交流会の開催～

1月23日(月)、高知会館にて、高知県食料産業クラスター協議会(事務局:高知大学農学部内)主催の6次産業化高知県地域ネットワーク交流会を行いました。本協議会は、食と農の連携を推進し、生産・加工・販売のコラボレーションによる地域素材を用いた食品加工業の振興を目指しており、県内の産学官が構成しています。

○パネルディスカッション

「6次産業化への本県の課題」

パネラー: 中国四国農政局事業戦略課長	西尾 洋一 氏
高知県地域農業推進課長	石本 周平 氏
高知県工業技術センター所長	西内 豊 氏
高知県産地消・外商課長	井上 浩之 氏
コーディネーター: 高知大学 副学長	受田 浩之 氏

○事例発表

「高知県事業: 農業創造セミナーの受講と実践について」

「農林水産省事業: 6次産業化の支援を受けて」

「文部科学省事業: 土佐FBC人材創出の受講と実践について」

黒岩じるし代表 村田 昭雄 氏
(株)土佐洋 専務取締役 馬詰 良信 氏

アグリネットワーク・れいほく(株)社長 高橋 誠 氏



Topic 1. 地域産品のブランド化へ・・・

～基石茶 目慣らし会の開催～

高知県大豊町で継承されてきた伝統的な2段階発酵茶「基石茶」について、産学官共同で機能性発掘やマーケティングを進めています。この基石茶の「目慣らし会」が1月18日に大豊町農工センターで開催されました。複数の生産者によって作られた基石茶について、それぞれ味や香り、色つやなどを評価し、基石茶の質を高めると同時に、生産者の技術交流を促進し、基石茶のブランド化を図ることを目的としています。

関係企業や研究機関だけでなく、地元小学生や地域住民など、総勢約60名の参加者となりました。

また、医学部附属病院薬剤部の吉岡三郎副部長、農学部の島村智子准教授による基石茶に関する研究報告や意見交換等も行われました。



基石茶評価中・・・



基石茶について意見交換

Topic 2. 出展希望者募集中！

～平成24年度 展示会情報～

平成24年度の展示会情報が徐々に出てまいりました。現在のところ、参加を予定している展示会は以下の3つです。出展者を募集しますので、希望者は当センターまでご連絡ください。

・BIO tech 2012

会期:2012年4月25日(水)～27日(金)

会場:東京ビッグサイト



・バイオマスエキスポ 2012

会期:2012年5月30日(水)～6月1日(金)

会場:東京ビッグサイト



・Bio Japan 2012 ワールドビジネスフォーラム

会期:2012年10月10日(水)～12日(金)

会場:パシフィコ横浜



上記の他に、出展の可能性のある展示会(開催概要等が未決定)

○イノベーションジャパン -大学見本市-

2012年9月開催予定

○アグリビジネス創出フェア

2012年11月開催予定

○工業技術見本市 テクニカルショウ ヨコハマ

2013年2月開催予定

Topic 1. 最先端ものづくりの基盤技術 ナノテク展 ～nano tech 2012 開催～

今年もナノ材料・素材、超微細加工技術、評価・計測分野をはじめ、各応用分野に対応した最新技術・製品が一堂に会した国際ナノテクノロジー総合展・技術会議「nano tech 2012」が2月15日(水)～17日(金)に、東京ビッグサイトにて開催されます。

ナノテクノロジーは、情報通信、エレクトロニクスから、医療・健康、バイオ、環境・エネルギーまで、様々な応用分野への展開が期待されています。

本学からの出展者(ポスター展示)

- ・教育研究部 総合科学系 複合領域科学部門 特任講師 片岡 正典 先生
「全ての核酸塩基と塩基対を形成する「ユニバーサル塩基」」
- ・教育研究部 医療学系 基礎医学部門 教授 本家 孝一 先生
「生細胞上で細胞表面分子間相互作用を同定する新規方法(EMARS法)」



Topic 2. その輸出！その技術！ ちょっと待った！！ ～安全保障貿易管理 事例紹介・説明会～

大学からモノの輸出や技術の提供の機会がますます増え、大学における安全保障貿易管理の取組は重要な課題となっています。

3月1日(木)、個別具体的な輸出管理の取組の説明会が経済産業省主催で開催されます。参加無料となっていますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

日時：平成24年3月1日(木)10:00～12:30

場所：四国経済産業局607会議室

(〒760-8512 香川県高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎)

主催：経済産業省

協力：(独)産業技術総合研究所

プログラム：「安全保障貿易管理について」

経済産業省安全保障貿易検査官 大塚 信 氏(予定)

「産総研の輸出管理の概要、産総研の輸出管理システムについて」

(独)産業技術総合研究所イノベーション推進本部

国際部安全保障貿易管理室室長 桜庭 昭義 氏

http://www.shikoku.meti.go.jp/soshiki/skh_b2/kokusai/3_event/120127/120127.pdf

Topic 1. 留学生が日本のテレビの現場を体験 ～RKC 高知放送を企業見学～

平成24年1月13日(金)、留学生の日本企業への就職活動の一助として、アジア人財資金構想(四国発グローバル人財創出留学生支援プログラム)受講者等7名によるRKC高知放送訪問を行いました。放送現場の仕事や音響設備機器の扱い方、テレビの仕組み等を学習し、スタジオではアナウンスを体験するなど有意義な見学となりました。

参加した留学生からは、「初めてテレビの中の自分を見て、興味深かった」「質問に対して、真剣に、また親切に分かりやすく回答していただき、勉強になった」などの声が出ていました。



テレビの仕組みに見入っています



ニュースの読み方体験中

Topic 2. 連携パートナー 中国 安徽大学を知ろう！ ～日本語教師を希望している方 必見～

当センターの客員助教である奥村 望先生が、中国安徽大学で日本語教師として活動した1年半の内容を報告する帰国報告会を開催します。中国に関心がある方のご参加をお待ちしています。また、海外での日本語教師や中国留学を考えている学生にとっては、参考になる話が多数聞けますので、是非、参加をお勧めくださいますようお願いいたします。

「中国安徽大学からの帰国報告会」

国際・地域連携センター客員助教 奥村 望 氏

日時：平成24年2月24日(金)14:00～15:30

場所：人文学部棟1階 留学生講義室3

☆今月の国際連携活動

○国立嘉義大学(台湾)との大学間国際交流協定及び学生交流に関する覚書を締結

国立嘉義大学は、6学部と42研究科を持つ総合大学で、地域開発を重視しています。地域特性を活かした教育・研究の連携を深め、農業分野だけではなく、教育学分野においても両大学間の学術交流の一層の進展が期待されます。

○レディング大学(英国)との意見交換

レディング大学から University of Reading International Study and Language Centre プログラムディレクターの Clare Nukui 氏、他1名が来学し、交流協定締結の可能性について意見交換しました。